

2021(令和3)年度【真澄会】事業報告書

(期間:2021年4月1日～2022年3月31日)

I.年間事業

NO	事業名	開催日	開催場所	事業内容
1	歴史資料展示室説明会	4月 1日(木)	真澄会室及び展示室	新任・転任教職員(10名)対象に学校総務グループにより実施。
2	監査(本監査)	4月 3日(土)	真澄会室	2020年度事業及び決算について監事による監査を実施
3	評議員会	4月 18日(日)	オンライン開催	評議員数232名事前審議114名オンライン審議19名 2020年度事業報告・決算案、2021年度事業計画(第5号議案「真澄会会員情報整備事業」は採決無し) ・予算案承認、監査報告
4	総会	5月 16日(日)	オンライン開催	WEB事前決議45名+当日決議33名(議長を除く)計78名参加 第1号議案～第4号議案は全員賛成 第5号議案「会員情報整備事業」は賛成多数 2020年度事業報告・決算案、2021年度事業計画・予算案承認、監査報告
5	懇親会	5月 中止	THE KNOT YOKOHANA	コロナ禍につき中止
6	体育祭	5月 14日(金)	母校グラウンド	応援合戦の審査員として参加
7	校史教育	6月 21日(月) 24日(木)	母校及び資料展示室	新入生(8クラス313名)対象 副読本「県立高女から横浜平沼へ」をもとに学習
8	第44回「平沼祭」	7月 3日(土) 4日(日)	母校	歴史資料展示室公開。生徒の保護者1名のみ来校可のため学校側で対応(93名来室)
9	施設見学会	7月 中止	母校	コロナ過につき中止
10	「真澄会報」発行	9月 初旬		真澄会報「63号」発行、A4判24ページ、全員配付
11	オープンキャンパス	9月 中止	母校	コロナ過につき中止
12	第16回「青春かながわ校歌祭」	10月 中止	大和市文化創造拠点 シリウス	3月27日にコロナ禍につき中止
13	先輩セミナー	11月 18日(木)	母校教室	講師 羽入佐和子(64期:哲学者・元国会図書館長、元お茶の水女子大学学長)、八木なざき(77期:版画家・女子美術大学准教授)、須藤尚樹(78期:ナレーター、リングアナウンサー)、後藤武(81期:建築家・前隈研吾都建 築都市設計事務所)、数土直紀(81期:一橋大学教授社会学博士、数理社会学)、三津田太郎(98期:川崎市立 病院検査科血液センター、血液内科臨床検査技師)、大湖史朗(98期:北里大学助教授ライフサイエンス/発 生生物学)、前田航気(114期:オリエンタルランド東京リゾートレストラン部門)
14	平和シンポジウム	11月 中止	小ホール	コロナ禍につき中止
15	監査(中間監査)	12月 4日(土)	真澄会室	2021年度上期事業及び中間決算について監事による監査
16	新会員懇談会	11月 30日(火)	真澄会室	119期生、新会員クラス代表との懇談会 会食は実施せず弁当を配布した。
17	学校説明会	10月 30日(土) 12月 4日(土)	母校	学校説明会(計10回)にあわせ歴史資料展示室オープン(10/30:1127名、12/4:759名来室、来校者の約70%が来室。昨年比+1265名)
18	母校との新年懇談会	1月 中止	THE KNOT YOKOHAMA	コロナ禍につき中止
19	健脚大会	2月 1日(火)	金沢海の公園	バックジューズ;3/22スポーツ大会で贈呈
20	「評議員のみなさまへ」発行	3月 下旬	LINE登録約150名 送付は約90部	発行予定部数;約 90部 A3判両面カラー

II.定例事業

NO	事業	内容
1	定例理事会	定例理事会 ①6/9(土)②7/17(土)③9/18(土)④10/16(土)⑤11/20(土)⑥12/18(土)⑦1/15(土)1/23(日)⑧2/19(土)⑨3/19(土)⑩4/9(土)予定 第1回、第2回、第3回、第8回はオンラインで開催、第4回、第5回、第6回、第7回、第9回は真澄会室とオンライン併用で開催
2	総務委員会	・総会、評議員会の開催・理事会の開催・事業報告、事業計画の作成・決算案、予算案の作成・監査への対応 ・各種ご支援(卒業生記念品、同期会祝い金、OB活動支援、真澄会支部支援、部活動励金等) ・母校支援活動(入学式、卒業式、健脚大会、まなびや基金協力等) ・青春かながわ校歌祭後援・先輩セミナー後援・真澄会サポーターズ倶楽部への支援金受け入れ
3	広報委員会	・「真澄会報 63号」の編集・発行 ・「評議員のみなさまへ」編集・発行 ・会員活動・母校行事等の取材等、HP委員会の管理運営 ・LINEによる公式アカウントの設定・HPワーキンググループの活動
4	歴史資料委員会	・校史資料の受入・管理・展示(常設・企画展) ・会員や母校行事に併せて随時「歴史資料展示室」をオープン ・展示室の企画・運営・管理にあたって母校と真澄会で組織する作業部会 ・運営委員会を定例化し、母校との連携を図り協力していく

Ⅲ. 母校支援・後援事業

NO	事業	内容
1	卒業生への 記念品贈呈	卒業記念校歌CDを贈呈
2	お祝い金贈呈	【節目の同期会お祝い金】117期(成人式年)のみ
3	OB活動への支援	部活OB会活動への後援・助成、定期演奏会祝金贈呈、真澄会室利用便宜供与など
4	真澄会支部への支援	贈呈なし
5	激励金贈呈	ダンス部(全国2回各50,000円)、ハンドボール部(関東50,000円、団体オール神奈川選抜3名各5,000円)、かるた部(全国1名10,000円、関東1名5,000円)
6	先輩セミナー後援	講師候補を推薦
7	まなびや基金	会員へ募金の協力を依頼(継続事業)
8	歴史資料展示室の運営	母校行事に協力し展示室オープン(校史教育・平沼祭・学校説明会)

Ⅳ. 新たに立ち上げた事業の状況

NO	事業	内容
1	母校創立120周年記念事業	・母校より「120周年記念誌」の原稿依頼があり、「真澄会この10年」(6ページ)として4月末に提出した。 ・平翠戦復活は2020年度に「期限を定めず再延期」とした。2021年12月に翠嵐同窓会・翠嵐会と再協議したが、コロナ禍が継続しており2022年度の具体化は困難と判断した。 ・「会員情報整備事業」を「母校創立120周年記念事業」の一環として進めている。
2	評議員のみなさまへの対応	・2020年度に実施したアンケートの要望等を参考に、70期以降を対象にオンライン懇親会を開催した。「真澄会公式 LINE」に70期から118期の評議員のうち合計148名の方が登録し、34名の評議員がオンライン懇親会に参加した。 ・2022年度は真澄会役員(監事・理事)の改選期にあたり、HPにて【「理事への立候補」(自薦)・「理事候補の推薦」(他薦)のお願い】を掲載し、35名の会員から推薦があり、理事14名・監事1名が候補者になった。
3	会員情報整備事業	・5/16(日)総会にて「母校創立120周年記念事業」の一環として本事業を進めることになった。 ・【目的】「住所不明者を追跡調査し会費収入増に繋げること」および「同期会・OBOG会支援等会員サービスの向上を図っていくこと」 ・【進捗状況】2021年9月真澄会報63号にて会員に「住所不明者」調査の協力をお願いし、住所不明者数は12,518名から10,765名へ1,753名減少し、判明率は68.3%から72.7%へ4.4%の向上となった。 ・整備にかかる事業費は、会員の「寄付金」と「広告収入」でまかなうこととしており、順調に進捗している。 ・会員情報整備の完了は2022年9月を予定。
4	新型コロナウイルス感染症対策	・コロナ感染防止対策を継続していく。 ・4/18(日)評議員会・5/16(日)総会はオンラインで開催した。 ・2021年6月から2022年3月までに実施した9回の理事会のうち4回はオンライン開催、5回は対面・オンラインの併用で開催した。
5	タスクフォースの立ち上げ	【趣旨】5/16(日)の総会で3年後を目処に会員情報管理システムを構築することが承認され、理事および評議員や有志(若手)による会員情報管理システム構築タスクフォースを立ち上げ、新システムの構想及び整備スケジュールを策定する 【目的】IT化による業務改善を基本とし、幅広い年齢層に受け入れられるポータルサイト(ホームページ)を構築し、同窓会運営の改善・最適化を図る 【メンバー】理事4名(リーダー皆藤副会長、沢内、山本、平井、坪井)、事務局1名(岸村)、会員代表5名(71期遠藤、88期高橋、92期大久保、上大田、佐藤) 【実施内容】4つの課題をデジタル化で解決する(全体最適化を図る)①会員の当事者意識の低下②業務拡大による事務局の人手不足③会費収入減少④事務局のノウハウ継承、体制持続化 【会員の当事者意識の低下策】HP、公式Twitter・Instagram・LINE(評議員LINEグループ新設)の運用スタート。学校行事(入学式・先輩セミナー・歴史資料室見学等)との連携強化をスタート